

第16回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成25年2月8日(金) 18時30分～21時

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

3 出席者

(1) 委 員 17名 *欠席 5名 児玉委員、

高野委員(代理出席:青柳氏)

中村委員(代理出席:諸橋氏)

加瀬委員(代理出席:門脇氏)

多田委員(代理出席:片岡氏)

(2) 事務局 6名 *教育委員会企画課 高須課長、池田主幹、 国方課長補佐、 小口主査
山崎主査補、安井主査補

(3) 傍聴者 5名

4 報告・議題

(1) 【報 告】 前回協議会およびそれ以降の動きについて

(2) 【議題1】 千城台地区小学校の適正配置について

(3) 【議題2】 次回開催日時・場所

5 会議資料

資料1: 第14回・第15回千城台地区学校適正配置地元代表協議会の概要

資料2: 小学校の統合・現行学区での統合シミュレーション(現行の学級編制の場合)

資料3: 小学校の統合・現行学区での統合シミュレーション(35人学級編制の場合)

資料4: 千城台地区小学校に在籍する児童の居住分布状況

資料5: 千城台地区小・中学校の施設概要

資料6: 中学校の生徒数推計・統合シミュレーション

6 議事の概要

(1) 【報 告】 前回協議会およびそれ以降の動きについて

事務局が前回協議会での協議内容について説明した後、協議会以降に各学校や自治会等で行われた話し合いや活動についても報告し、確認した。

(2) 【議題1】 千城台地区小学校の適正配置について

氏家会長が「小学校の統合シミュレーションについての会長・副会長提案」を行った後、全体で協議を行った。

その結果、次回も引き続き小学校の統合協議を行うこととし、5番のシミュレーションについて事務局より具体的な説明を行うこと、中学校の統合について各団体で話し合ってくる事が確認された。

(3) 【議題2】 次回開催日時・場所について

平成25年3月8日(金) 18時30分から20時30分まで、千城台公民館で開催することとした。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶 (氏家会長)

本年は学校統合の具体的な対策を協議する年である。本番の議論に入っていく。できれば本年9月には一定の合意を得たいと考える。

「子どもたちのより良い教育環境をつくる」との方針に基づき、小学校統合の必要性については合意を得ているが、今後は住民への説明を行うことも想定すると、統合の組み合わせ、統合場所、跡施設活用など、多角的にしかも厳しい議論が必要になってくると考える。

会長・副会長の立場として、委員の方々が議論しやすいように、資料、情報を的確に提供できるよう配慮していきたい。事務局には一層の努力をお願いする。

また、情報収集の一環として、各学校を訪問し現状の問題点等のヒアリング調査を行いたいと考えている。学校を利用している団体や住民などの意見も吸い上げていきたいので、委員の方々にもご協力をお願いする。本日は前回協議会での討議を踏まえ、会長・副会長で2案に絞って提案したいと思う。後ほど資料を配布し説明するので、ご審議願いたい。

(2) 報告

報告 前回協議会およびそれ以降の動きについて

〈山崎議長〉 「前回協議会およびそれ以降の動き」について、事務局から報告をお願いする。

〈事務局〉 「前回の協議」と「それ以降の動き等」に分けて報告する。

「前回の協議」に既に議事要旨が確定されているので、資料1に沿って簡単に説明する。

(前回協議された概要)

- 会長・副会長から「現行学区でのシミュレーション」のうち、2番と1番の2案の提案があった。
- 協議の結果、次の意見が出され、結論には至らず、継続審議となった。
 - ・単学級を解消するということが大前提であり、単学級の発生が見込まれている案は適切ではない。
 - ・以前の協議会において、5番のシミュレーションが妥当であろうとの意見が出されていたはずである。
- 「地元代表協議会だより」について文面の確認が行われるとともに、全戸配布することが了承された。

次に、「前回協議会以降の動き」について、報告する。

- 「地元代表協議会だより」の配布について
 - ・12月16日(日)～12月22日(金)に、会長会(町内会単位)、小・中学校の全保護者、幼稚園、保育所、公民館、市民センター、コミュニティセンター、サポートセンターに配布した。
- 事務局が出向いての説明・意見交換会について
 - 1月19日(土)に旭小PTA理事対象、1月29日(火)に御成台地区の住民有志対象の説明と意見交換を行った。
- 「地元代表協議会だより」配布以降に寄せられた意見等について
 - 1月10日(木)に「進捗状況を知りたい」とのことで、東小区在住の2名が来課された。第15回協議会の資料等をもとに説明した。また、1月11日(金)には元町内会の役員という方から「(統合が必要であることは)もっと早くからわかっていたはずであり、今頃何をしているのか、急ぐべきである。」との

電話を、1月18日（金）には南小保護者という方から「統合反対である。通学時間や距離を考慮すべきである。各校での認識は低く、説明不足である。アンケートをもっと具体的にする必要があるのではないか。」というメールを、1月21日（月）には更科小学区の未就学児保護者という方から「更科小はかなり小規模であり、社会性を養うためにも人数の多い学校に入りたい。更科小も千城台地区の協議にぜひ入れてほしい。」との電話をいただいた。

- 〈山崎議長〉 今の事務局の説明については、既に議事要旨も確認・決定されているので特に意見なしでよろしいか。
- 〈一 同〉 異議なし。
- 〈山崎議長〉 次に、前回協議会以降の動きについて、各委員から報告があればお願いします。
- 〈一 同〉 特になし。

(3) 協議

議題（1）千城台地区小学校の適正配置について

- 〈山崎議長〉 事務局から説明をお願いします。
- 〈事務局〉 資料2～6については、前回同様の資料である。内容は前回と変わっていない。
- 〈山崎議長〉 資料について質問はあるか。
- 〈一 同〉 特になし。
- 〈山崎議長〉 続いて、本日の協議について、氏家会長より会長・副会長提案をお願いします。
- 〈氏家会長〉 前回協議会での協議経緯を踏まえ、改めて、以下のように今後の協議方法を提案する。

<提案>

学校規模のバランス、想定される通学経路、地域の声等の観点から総合的に判断して、6つのシミュレーションのうち、「2番」「5番」に絞って協議することを提案する。また、統合校を何処にするのか、跡施設はどうするのか、住民への説明はどうするか等にも着目し、より実行性を考慮した協議が必要と思料する。

2番のシミュレーション

<概要> 5小学校 ⇒ 3小学校 中学校は当面2校の存続を想定

- (1) 東小は今後も適正規模を維持することが見込まれるため、そのまま単独で存続することは妥当である。
- (2) 「北小と西小の統合校」について
 - ①特別支援学級（計10学級）も加えると、学校全体では20～22学級程度の規模となる。
 - ②専科教員が配置される規模（13学級以上）となる。
 - ③北小は「統合校（仮校舎は西小）」・「仮校舎（統合校は西小）」いずれかになるため、現在ある特別支援学級の設備を十分活用できる。
- (3) 現行の中学校区内での統合であり、地域団体との関係や活動も継続でき、統合を実行する場合の影響は少ないと考える。
- (4) 現行小学校区に、小・中学校のいずれかは所在する配置が可能である。

例) 北小区：小（北小+西小の統合校）	西小区：中（西中学校）
東小区：小（東小学校）	南小区：中（南中学校）
旭小区：小（南小+旭小の統合校）	

5 番のシミュレーション

〈概要〉 5 小学校 ⇒ 2 小学校 中学校は統合を想定（2 中学校⇒1 中学校）

- (1) 統合された場合の2校ともに全学年複数学級で、単学級が発生しない。
- (2) 統合された場合の2校ともに専科教員を配置できる規模（13 学級以上）となる。
- (3) 統合された場合の2校の「学校規模のバランス」が良い。
- (4) 北小が「統合校になる（仮校舎は西小または南小）」・「仮校舎になる（統合校は西小または南小）」のいずれかの場合には、現在ある特別支援学級の設備を十分活用できる。
- (5) 中学校2校とも北小・西小・南小側に所在することになり、「中学校の統合の協議」が必然となるが、中学校の統合まで進めば「中学校区の学区のねじれを解消する」ことにつながる。

〈山崎議長〉 事務局から補足説明はあるか。

〈事務局〉 「中学校に着目」すると、2番は「中学校を当面2校残すことが前提のため、中学校区のねじれは現在のまま」となり、5番は「中学校を統合して1校とすることが必然となり、統合されると中学校区のねじれは解消する」と考える。
また、2番については、前回協議会の議論でも指摘された「単学級が発生すること」をどう考えるかがポイントである。これを踏まえて協議をお願いする。

〈山崎議長〉 それでは、2番・5番のシミュレーションに絞って、質問も含めて協議をすることとしてよろしいか。

〈一同〉 異議なし。

〈山崎議長〉 では、各団体から意見をお願いする。

〈青柳氏〉 高野会長の代理で参加している。現在、6年と1年に子どもがいるが、6年生は6年間単学級である。世間でいじめが問題となっているが、単学級でいじめが起きた場合、人間関係が変わらないので解決が難しいといえる。親としては早く統合を進めてほしい。

〈大和久委員〉 西小では、以前から「数合わせの統合ではなく、小中連携など魅力のある統合」をお願いしてきた。この会長・副会長提案の理由だけでは、持ち帰っても反対されると思う。

〈佐々木委員〉 小中連携などの具体的な要望については、「統合の要望書」に盛り込むことができると思う。現在でも連携は行っている。東小では、おやじの会と情報大学との連携を図ろうと学校側に調整をお願いしているところである。会長・副会長提案については、どちらも良い面がある。2番のシミュレーションは30年以後の推計が不明なので、単学級がどれくらい発生するのか心配であるが、中学校の統合については1校に統合することもできると思う。

〈栗山委員〉 南小では、学年ごとの懇談会の中で話し合いをしてもらった。「中学校の統合が必要か」との質問には、「本当に統合が必要なのか」等の消極的な意見が出されたのが現状である。個人的には、中学校の統合は必要と思っている。「単学級が発生しないこと」を前提とした場合、必然的に5番のシミュレーションとなる。

〈奥田委員〉 旭小では、今まで説明会等での出席者が少なかったので、1月の理事会前に事務局に説明をしてもらった。それを受けて、次のような意見があった。

- ・ 中学校では部員数が少ないので、部活に入らずに外の団体に入っている状況がある。ぜひ統合してほしい。
- ・ 5番のシミュレーションでは、小・中学校同時で統合してほしい。

- ・統合については、急がずに様々な問題を協議して進めてほしい。
- ・モノレール通りをまたぐ場合、歩道橋を設置する等、安全確保を十分行ってほしい。
- ・学習についての協議も必要ではないか。
- ・子どもルームを利用している人が多く、今でもいっぱいなのに、統合した場合、1つに収容できるのか心配である。
- ・統合した場合、家からできるだけ近い学校へ行けるよう配慮をお願いしたい。

- 〈來住委員〉 西中では、3年間で卒業してしまうということもあってか、保護者の関心が薄い。現状のままが良いという意見が出ている状況である。会長・副会長提案については、具体的に二択となったことは良かった。個人的にはどちらでも良いと考える。
- 〈笹川委員〉 南中では現在のところ、特に意見は出ていない。
- 〈諸橋氏〉 中村委員の代理である。地域としては活動しやすい2番のシミュレーションがよいと思う。通学距離から考えても2番がよいのではないか。
- 〈門脇氏〉 加瀬委員の代理として初めて出席したが、16回目の会議にしては盛り上がらない初期段階の発言が出ている状況に驚いている。会長の挨拶にもあったが、もう実行していく段階であり、コンセンサスを固める時期ではないか。
- 本日の資料1の「今後の協議について」の合意事項の中に、「配置については、『子どもたちにとってのより良い教育環境』の視点を重視する」とあるが、その視点をはっきりさせていくことが大切ではないか。単学級にはどういう問題が発生しているのか、単学級で良いのかなど、明確にすることである。
- 〈谷野委員〉 2番のシミュレーションが良いと思う。地域としてはバランスよく配置してほしい。
- 〈片岡氏〉 多田委員の代理として出席したが、16回も会議を行っているのに、「話し合いが進んでない」というのが率直な感想である。現在、孫が小学校に通っている。できれば適正規模校に通わせたい。単学級がずっと続くことになるので、話し合いのスピードアップをお願いしたい。
- 〈土屋委員〉 会長・副会長提案については、2つに絞ったのは良い。私自身が単学級で育ったので、単学級であることに対しては抵抗がない。また、小規模校の方が問題は少ないと聞いている。2番のシミュレーションでは、平成30年度に単学級が発生するが、あまり抵抗感はない。跡施設については、今後、行政側から説明をしていただければと思う。
- 〈酒井委員〉 単学級をなくそうという方向で15回も討論してきた。個々の意見をまとめて、会長・副会長が2番と5番を提案した経緯は理解する。
- 地域の特色を生かすには5番のシミュレーションが良いと思う。
- 〈鈴木委員〉 会長・副会長提案については5番のシミュレーションが良いと考える。「学校に活力を生み出す」、「クラス替えができる」という2つの理由からである。
- 早く統合するためには、協議会で話し合うのは止めて、専門家である行政にらせてみてはどうか。
- 〈山崎委員〉 第16回となったが、やっと2案に絞れた感がある。地域から考えると、学校統合は千城台地区がかなり変わる大きなことなので、十分協議していくのが良い。
- 地域からは「子どもの安全を第一として考えていただきたい」「体育館を使用している団体にとっては統合で活動場所がなくなるのは危機的な状況である」という意見を聞いている。
- 〈鶴岡委員〉 より良い教育環境にするには、「学校の施設・設備を整えること」と「優秀な教員を集めること」である。また、学校規模を大きくすることにより、子どもも教員も競争意識

が芽生え、より良い教育効果が表れると思う。このようなことから、「単学級をなくすこと」が大前提と思う。廃校というが、学校は活用するものである。学校をどう活用するのが大切である。中学校については、生徒たちが希望する部活動が開設でき、教員も経験のある顧問がつくことができる規模の学校が良い。

〈石原委員〉 2つのシミュレーションに絞ったのは良い。また、会長から説明があったが学校からの意見を吸い上げることも良いと思う。2番か5番かを決定するのは、いろいろ議論をする中で十分検討していくことが大切である。モノレール下の道路を横断する場合、歩道橋やセーフティウォッチャーの配置など安全確保をどうするのか、体育館を無くしたらどうするのかなど、いろいろと検討すべきである。

〈大澤委員〉 会長・副会長提案では、2案に絞りあげたことで、具体的に見えてきた。個人的には2番も5番もどちらも良いと思う。現場の学校の声を吸い上げるのは良い。

〈石原委員〉 全員の意見が出されたが、委員は「この後の進め方をどうするか」を知りたいことではないか。

〈氏家会長〉 その前に、第24地区町内自治会連絡協議会会長として、意見を言わせていただきたい。現在、各小・中学校、公民館、千城台高校等が各地区の避難所として指定されており、緊急対応物資が配給されている。千城台地区には8400世帯あるが、大地震を想定して計画的に避難所等の対策が講じられている。このように、学校施設については地域住民にとっても大きな財産と考え、整合性を踏まえながら議論していきたいと思う。

〈山崎議長〉 南中区青少年育成委員会代表として報告する。毎回、資料を配布して説明しているが、温度差がある。緊急性を感じていないため、自分のこととして考えていない。今後も折に触れて説明していきたい。

〈菅原副会長〉 西中青少年育成委員会においても温度差がある。統合を早く進める、ゆっくり進めるということではなく、今後の千城台地区のことをよく考えていただきたいと伝えている。

〈鈴木委員〉 協議会委員は千城台地区のことを十分考えて集まっており、この協議会は「学校統合について協議すること」が役割である。「千城台地区をどうするか」ということは大きな問題であり、この協議会で話し合うこととは別であろう。この協議会で統合について決定した後に専門家に任せればよいのではないか。

〈菅原副会長〉 先程の発言は、「青少年育成委員会の方々にも自分たちに関わることとして、統合についてもっと真剣に考えてもらいたい」という意味で言ったことをご理解いただきたい。

〈門脇氏〉 話し合いを整理してみる必要がある。体育館の利用について統合に絡めて討論するのか、施設・設備をどうするのか等いろいろな課題があると思うが、まずは統合と切り離して考えるべきではないか。

〈山崎委員〉 それでは振り出しにもどってしまう。これまでいろいろな面から検討して進めてきた。

〈門脇氏〉 私が言いたいのは、突き詰めて「2番か5番のどちらかに絞っていくべきではないか」ということである。

〈栗山委員〉 「中学校区のねじれをなくすこと」、「単学級をなくすこと」を前提に進めてきた。前回協議会において、中学校の統合をどうするかを各団体で話し合ってくるようになっていたはずである。なぜ、単学級が想定される2番のシミュレーションが会長・副会長提案に入っているのか。突き詰めれば、5番しかないのは明白である。

〈氏家会長〉 単学級の捉え方だと思う。全学年とも絶対的に複数学級でなくてはならないのか。ある程度の許容範囲があるのではないか。

〈栗山委員〉 そこを議論すべきである。

- 〈氏家会長〉 2番のシミュレーションでは、平成30年度に1年生が単学級となると見込まれている。24年度の出生率が低く、6年後の30年度の1年生が少ないようである。30年度以降の推計も含めて、もう少しデータを精査する必要がある。
- 〈大和久委員〉 代理で出席されている方々から、貴重な意見をいただいたと思う。コンセンサスをもって進めていくことが大切である。1つの幹、柱を決めて、議論していくことではないか。
- 〈佐々木委員〉 モノレール通りを渡る場合の安全確保についてだが、まず大人が平気で渡っているのが良くない。シミュレーションを絞る観点として、全校児童数に関しては、運動会を例にあげると200人台と400人台ではかなり内容が違ってくる。地域としては2番のシミュレーションが良いということだが、避難場所については、1か所に集めた方が掌握しやすいことから指定されていると思う。体育館の利用については、跡施設活用の協議内容ではないか。通学距離の面から、スクールバスを出すなど、細かいことについては統合の要望書に盛り込めばよい。
- 以前に、話し合いの進め方のフローチャートが提示されたが、中学校の協議を含めて早く進めなければならないと思う。
- 〈片岡氏〉 どちらにしても、反対意見は出る。全員賛成することはないと思う。
- 〈氏家会長〉 この協議会では多数決で決めるのではなく「合意」という形で進めたい。時間も過ぎているので、本日の内容を持ち帰って話し合っていたきたい。
- 〈佐々木委員〉 1つ確認したい。統合が27年度にならないことも有り得るか。
- 〈青柳氏〉 統合は急いでほしい。いろいろな意見が出たが、単学級をなくすのは5番のシミュレーションである。私の子どもの学級は、女子が7人しかいない現状である。早く進めるためにも、協議会として5番で決定し、各団体に持ち帰って話し合ってくればよい。
- 〈栗山委員〉 前回協議会でも「単学級をなくす」ことが前提だったのに、5番、2番の提案がなされた。単学級をなくさなくてはならないことは確認されている。
- 〈氏家会長〉 それぞれの団体の意見を踏まえて、提案していることをご理解いただきたい。
- 〈土屋委員〉 2番・5番のシミュレーションについては、行政側からもプレゼンテーションをしてほしい。長く協議会も行ってきており地域性も見えていると思うので、プロの目からお願いしたい。
- 〈片岡氏〉 教育委員会から案を示して、進めているのかと思った。
- 〈事務局〉 教育委員会は事務局の立場であり、各委員から要望があった資料や情報を提供している。地元代表協議会の中で、十分話し合って進めていただいている。
- 〈片岡氏〉 統廃合については、誰が提案したのか。
- 〈事務局〉 学校適正配置実施方針に基づいて、教育委員会が協議をお願いしている。
- 〈土屋委員〉 現場の意見を吸い上げて検討していく流れで適正配置を進めていると聞いている。
- 〈石原委員〉 適正配置の話し合いを任されたのは私たちであるが、協議会の要望として、事務局から提案してもらおうということをお願いしたい。
- 〈佐々木委員〉 現場の先生の見解はいらぬのではないか。
- 〈氏家会長〉 現在どういう切実な問題があるのかということ調査したいと考えた。
- 〈石原委員〉 それは必要である。
- 〈山崎議長〉 次回の協議について、事務局からあるか。
- 〈事務局〉 本日の協議を踏まえて、5番のシミュレーションを各団体に持ち帰って話し合っていたき、次回報告するという流れでいかがか。特に、「単学級をなくすこと」と「中学校

の統合をどうするか」について意見を吸い上げていただきたい。

- 〈諸橋氏〉 5番だけでは比較できないのではないかな。
- 〈栗山委員〉 前回も同じように持ち帰って話し合ってきているはずである。
- 〈鈴木委員〉 各団体に持ち帰ってと言われても、本日話し合ったようにそれぞれの立場があり、意見が分かれる。学校に関わる保護者代表側の団体でまとめることはできないのか。
- 〈青柳氏〉 学区は行政側が決めたわけであり、5番について行政側で考えてもらい、提案してほしい。早く統合を進めていきたい。
- 〈栗山委員〉 以前に各団体で持ち帰って話し合った結果、5番となったはずである。
- 〈青柳氏〉 何回持ち帰ればよいのか。
- 〈片岡氏〉 「地域に丸投げ」ではないか。
- 〈門脇氏〉 先程、土屋委員が述べたのはうまくまとめたという願いからであると思う。「単学級をなくす」には5番のシミュレーションとなる。中学校の統合については小中同時が良いという意見も出ている。5番であれば小中同時の統合が可能である。5番のシミュレーションについて、具体的にプロの目から見た提案をお願いしたいということである。
- 〈事務局〉 委員からの要請で、協議会で合意であれば、事務局として5番のシミュレーションについて説明したい。
- 〈青柳氏〉 協議会としては「5番で決定」が良いと思う。
- 〈門脇氏〉 行政としては地域住民の意見を吸い上げてということだと思うが、委員としては今までいろいろ意見を出して話し合ってきているので、今後スピーディにいききたいということである。
- 〈事務局〉 それでは、協議会の事務局として次回に資料を提示する。中学校の統合については持ち帰って話し合っていたきたい。
- 〈氏家会長〉 特に、中学校の保護者代表においては、当事者側となるので、きちんと意見の吸い上げをお願いしたい。
- 〈栗山委員〉 中学校の統合について、既に意見を吸い上げている団体についてはやらなくてもよいか。
- 〈氏家会長〉 それで充分なのであれば、やらなくても結構である。
- 〈山崎議長〉 事務局に作成を依頼する資料はあるか。
- 〈菅原副会長〉 2つの資料提示をお願いしたい。
1つ目は、場所の決定に向けて、統合校の場所を決める根拠となる資料があるとよい。項目ごとに評価できるわかりやすい一覧表にして示してほしい。
2つ目は、統合に向けての今後の見通しを持つためにも、改修工事の期間等を含んだスケジュールを示してほしい。
- 〈大澤委員〉 北小の特別支援学級に関連して、花見川地区でも聞き取り調査を行ったと聞いているが、千城台地区でも「北小にある特別支援学校の保護者」の声を聞く機会を持つようにしてほしい。
- 〈山崎委員〉 確認するが、統合するかしないかについては、この協議会で決定することでよいか。
- 〈一同〉 小学校の統合については必要であることがすでに確認されている。
- 〈氏家会長〉 以前示されたフローチャートに沿って、協議会を進めている。統合が合意され、市として決定されれば、別に設置される統合準備会の中で具体的な内容を協議することになる。
- 〈山崎委員〉 私が聞きたいのは、協議会委員で統合を決めてよいのかということである。
- 〈氏家会長〉 その通りである。各団体での説明を十分行う中で意見を吸い上げながら、協議会委員で合意し決定していくことが大切であると考えている。

〈佐々木委員〉 平成27年度の統合の方向性は変わらないのか。

もし、その方向性でいくのであれば、1か月に1回のペースで進めるべきである。

〈山崎委員〉 次回協議会で統合について決定できるといい。

〈山崎議長〉 協議会委員の合意がなければ決定できないので、話し合いのスケジュールを見通しながら協議をお願いしたい。

議題（2）次回の開催日時と場所について

〈事務局〉 今までは2か月に1回のペースで了承されているが、今年度あと1回開催すると考え、3月8日（金）でいかがか。

〈一同〉 異議なし。（了承）

〈山崎議長〉 次回は3月8日（金）18：30から、千城台公民館で開催する。

（4）連絡

- ・次回協議会は3月8日（金）18：30～20：30、千城台公民館で開催する。
- ・欠席する場合は、事前に事務局に連絡をお願いしたい。
- ・本日の議事要旨（案）を作成し郵送するので、確認をお願いする。
- ・事務局による説明・意見交換の希望があれば声をかけていただきたい。

（5）会長挨拶（氏家会長）

本日もたいへん熱い議論となった。

今後、各団体で役員の引き継ぎが始まる時期となると思うが、次年度も共通理解して進めていきたいので、引き継ぎをしっかりとお願いしたい。

地域住民への説明についても継続していき、「地元代表協議会だより」第4号の発行も検討していきたい。